



# アクティブNPO

今回紹介するアクティブなNPOは、子どもたちや、その保護者をはじめとした大人たちに対し、「正しい性教育」を伝える活動を行っている「NPO法人せいしとらんし熊本」です。法人設立から2年、団体を取り巻く環境の変化や、性教育を通じて伝えていきたいこと、目指す社会像などについて、理事長の中村和可子さんにお話を聞いてみました。



たったひとつしかないあなたの  
生命「いのち」を大切にしていね

## 子育ての中で気づいた重要性

20歳のときに子どもを授かり、その後シングルマザーとして子育てをしてきました。その中で痛感したのが、「正しい性教育」の重要性です。思い立った私は、36歳で看護学校に入學し、独学で性や心理の勉強をしました。友人・知人の相談から始まり、性教育の講演などの活動を行ってきました。

最初は個人で行っていた活動でしたが、支援・協力していただける方が集まり、「すべての人に正しい性教育をきちんと広めていこう」との思いから、法人化して活動していくことを決めました。また、講演や講座を受けて、「自分も性教育を伝えていきたい!」と思っただけの方々に応援する意味で、団体の登録講師として活動してもらうために作った法人でもあるんです。

## 性教育のイメージって…

「性教育」と聞くと、やっぱり「いやらしい」ってイメージが先行してしまっていて恥ずかしい気持ちになりますよね。多くの人がそうだと思います。私たちが性教育を通じて伝えていきたいのは、「生命(いのち)の大切さ」なのです。性教育は「健康教育」「安全教育」「コミュニケーション教育」「人権教育」の4つの意味合いがあっ



て、これらは人生の土台にもなる大切な学びです。ですので、小さな子どもたちから大人まで、この世に生きる全ての人に伝えていきたいのです。昨年からは、文科省が学校で「生命(いのち)の安全教育」を進めていきます。私たちも「性被害に遭わない・起こさない」ための性防犯教育を行っています。ですが、これが決まってきたのは、「やっと国がせいしとらんし熊本」に追いついた!」と思いたよ(笑)。

## 全国に広がる想いと活動

現在、子どもやその保護者、大人を対象とした性教育の講座を定期



的に開催しているほか、性教育学習の講演会やセミナー、研修会を行っています。設立当初は、一部の保護者の方からの依頼であったものが、現在ではPTAや学校単位での依頼、行政からの依頼も多くなりました。

育成事業として行っている性教育認定講師(SPT)は25名となりました。現在は第10期と第11期を開講中(およそ10か月間)で全10名が受講中です。こちらにも北は北海道、南は鹿児島と受講生が全国に広がっています。認定講師となった人たちは、法人内の講師として登録して講座に登壇する他、各々の地域で独自に性教育活動を行っています。講師のみなさんとは定期的にSNSのチャット機能などを使って、勉強会やミーティングを行っています。

また最近ではコロナ禍でリモートによる講演・セミナーばかりになっています。ですが、参加者が口コミでセミナーのことを広めてくださったことが功を奏して、全国各地から声をかけてもらえるようになりました。私たちが行ってきた活動が、多くの方々を受け入れられ、また、必要と

されるようになってきたと実感しています。

## 誰もが自分らしく生きられる社会を目指して

性教育を推し進めることは「誰もが自分らしく生きられる社会」、つまり「自分の人生を主体的に選択できる社会」の実現にもつながると考え、私たちは活動しています。

性教育の講座、セミナーは全世代に向けて行っていますが、「性」へのイメージや先入観のまだない幼いうちから「生命の大切さ」を伝えていくことはとても重要だと思っています。性教育を行う団体は全国的にも多く存在しますが、「子どもへの性教育といえば、せいしとらんし熊本!」と言われるような存在になりたいですね。

## 取材後記

理事長の中村さんのかく明る人柄や、子どもたちに性の知識を伝えるため工夫を凝らした楽しい講座の内容とは裏腹に、団体が立ち向かっているのは、絶えることのない性犯罪や性的虐待などの大きな社会問題です。

生命(いのち)の源である「性」を通じて、生命の誕生や自他の身体の尊さを伝えていくという姿勢や想いに、「正しい性教育」の重要性を改めて感じさせられます。性加害者も被害者もつくりださない「社会の実現を目指す、団体の強い使命感も感じた取材でした。

## NPO法人せいしとらんし熊本



TEL 096-323-6070(事務局)  
Mail info@seirankumamoto.com

HPやSNSで活動をチェック!



HP



Facebook



Instagram